



就活応援通信 epi.25

ポストコロナ (コロナの次) 時代の働き方



コロナ以降は、より働き方の自由度が高くなり、働く場所や時間、内容を個人が意思を持って選択する方向性にシフト

今回のコロナ禍では、自身の在り方や家族や会社との関係性を深く考え行動に移す意味で、一人ひとりのクリエイティブ性が試されたように思います。この期間で「何もしなくていいんだ、ラッキー」と思って何もなかった人と、「自分は何をしたい／すべきなのだろうか?」「どうしたらもっと豊かな生活ができるだろうか?」という問いを立ててアクションした人との、行動は二極化したように感じます。



仕事も働き方も組織から与えられるものと受動的な姿勢で構えるのではなく、一人ひとり自分のワークデザインやライフデザインを再構築し続ける必要が高まってきます



「自分が好きなことをやる」が現代における大人の学び

人の寿命が伸び、逆に企業の寿命が短くなっている今、良い大学を出て良い会社に入って定年まで勤め、定年後はのんびり過ごす・・・というようなキャリアプランは、もはや崩壊しつつあります。

学んで働き、また学んで別の仕事をする・・・を繰り返すスタイルが今後はスタンダードになってくると考えると、興味を深める学びは一層大切になるでしょう

興味を深める学びは一層大切になる

「私はこれが好きだから、興味があるから仕事を創り出す」くらいのクリエイティブな人が強い
キャリアや資格といった目的がないと「学び」ではないと思われる方もいるかもしれませんが、それは学びの一側面です。
これからの時代は、自分の興味本位でどんどん深めてみる。趣味として終わってもいいですし、いつか学びを自身の仕事やキャリアに結びつけることもいいでしょう。

